

シンポジウム 7

肝癌の基礎と臨床 今後の展開は

第 2 日目 12 月 8 日 (土) 8:30~10:30

第 1 会場 (ザ・プリンス パークタワー東京 地下 2 階 コンベンションホール A, B)

司会 山本 雅一 東京女子医科大学消化器・一般外科
 坂元 亨宇 慶應義塾大学医学部病理学教室
 加藤 直也 千葉大学大学院医学研究院消化器内科学

- SY7-1 ロイコトリエンを標的とした ADAM9 制御および MICA 増強による肝癌治療戦略
 昭和大学医学部内科学講座消化器内科学部門 荒井 潤 (あらい じゅん)
- SY7-2 肝糖代謝阻害薬 2-deoxy-D-glucose 封入 PLGA ナノ粒子を用いた肝細胞癌治療開発
 川崎医科大学肝胆膵内科学 佐々木 恭 (ささき きょう)
- SY7-3 肝細胞癌の分子標的治療における FGF19/FGFR4 シグナル制御の重要性
 千葉大学大学院医学研究院消化器内科学 神崎 洋彰 (かんだき ひろあき)
- SY7-4 肝前駆細胞マーカー発現から見た肝細胞癌の heterogeneity と層別化に向けた可能性
 新潟大学大学院医歯学総合研究科消化器内科学分野 土屋 淳紀 (つちや あつり)
- SY7-5 肝細胞癌の画像と病理の詳細な比較・検討による臨床病理学的に有用な分類の試み
 慶應義塾大学医学部病理学教室 上野 彰久 (うえの あきひさ)
- SY7-6 進行肝細胞癌に対する各種分子標的治療薬の宿主免疫学的効果
 東邦大学医療センター大森消化器内科 永井 英成 (ながい ひでなり)
- SY7-7 TACE と全身化学療法の比較試験を見据えた intermediate stage HCC 治療成績の解析
 千葉大学大学院医学研究院消化器内科学 興梠 慧輔 (こうろき けいすけ)
- SY7-8 ソラフェニブ投与例における ALBI grade と Child-Pugh 分類の比較—多施設共同研究—
 大垣市民病院消化器内科 三宅 望 (みやけ のぞみ)